

肝属川学識者懇談会について

令和元年11月11日

1) 懇談会の目的

1. 整備計画内容の点検を継続的に実施する

- 流域の社会情勢の変化、地域の意向
- 事業の進捗状況及び見直し
- 河川整備に関する新たな視点

など

2. 整備計画変更の必要性が生じた場合に**変更原案に対して意見を伺う**

3. なお、内容の点検の中において、一定期間(5年)経過した事業や再評価の実施の必要性が生じた場合等に実施する**事業再評価(継続や見直し等)**や**事業完了後5年以内**に実施する**事後評価**についての審議を行う

2) 事業評価の目的と懇談会の位置付け

1. 事業再評価の目的

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業採択後一定期間を経過した事業や社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じ事業等の評価を行い、必要に応じ、その見直しを行うほか、事業の継続が適当と認められない場合には事業を中止するものである。

2. 事後評価の目的

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業完了後の事後評価を行い、事業の効果、環境の影響等の確認を行い、必要に応じ、適切な改善措置を検討するとともに、事後評価の結果を同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し等に反映することを企図するものである。

3. 事業評価監視委員会

事業評価の実施主体の長は、再評価、事後評価に当たって事業評価監視委員会を設置し、意見を聴き、その意見を尊重するものとする。

4. 懇談会の位置付け

河川事業、ダム事業については、河川整備計画策定後、計画内容の点検のために学識経験者等から構成される委員会等が設置されている場合は、事業評価監視委員会に代えて当該委員会で審議を行うものとする。

3) 今後の予定(懇談会の役割)

肝属川水系河川整備計画の点検・変更等

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	備考
計画の 点検	点検	●			●		●			●		●	社会情勢の変化、事業進捗 事業評価等により適宜実施
	事業 評価	改修	●		●		●					●	整備計画点検と合わせて実施
		環境				●					●		
計画の変更		(必要な場合に変更を実施)											集中的に開催



肝属川水系学識者懇談会

- ・平成23年7月～平成24年1月まで開催
- ・全3回開催
- ・学識者懇談会での審議を踏まえ、平成24年8月に肝属川水系河川整備計画を策定

肝属川学識者懇談会

- ・平成26年8月設置
- ・点検に関しては事業評価に合わせて実施するとともに、社会情勢の変化・事業進捗等により適宜実施
- ・事業再評価、事後評価に関しては、基本的に5年に一度実施
- ・計画を変更する際は集中的に開催